

本書には私が17年間にわたる中国語の教授経験で得た様々なコツが網羅されています。例えば、21個の声母（子音）のマスターには、日本語や英語の音を借りた発音のコツを取り入れ、38個の韻母（母音）のマスターには、中国語独特の口の形のの違いに従って発音を整える分類法によって取りまとめた上で日本語のカタカナも借りて説明を加えていますので、本書のCDを聞き、本書の声母表と韻母表の説明を見て発音の練習をすれば、初心者でも声母と韻母の発音のコツを各15分でつかむことができます。また、発音に関する理論的な説明と解釈を読めば、発音段階の学習ポイントとそのルールもよく分かるようになっています。

本書は〈第1章・発声法編〉〈第2章・発音練習編〉〈第3章・発音応用編〉〈第4章・実践応用編〉の4部で構成されています。〈第1章・発声法編〉の主な内容は、学習者から質問の多い「4つの声調」「拼音字母の役割」「声母と韻母の発声法」「セイボマンダリンと方言」及び「発音進捗表」など。〈発音練習編〉の主な内容は「あいさつ用語70例」「応用会話280例」「4つの声調練習」「音の区別練習」「音節声調の順番練習」「発音の理論知識」など。〈発音応用編〉には「日常会話150例」「4つの声調練習」「音の区別練習」のほか、入門のキーポイントや文法ポイントの説明がありますので、日常会話だけではなく、入門段階の文の基本構造の理解、応用会話や応用文の作成もできるようになります。最後の「実践応用編」の内容には「文型と文法ポイント約100例」「応用会話700例」「単語1,300個」などがあります。

本書の実践応用の学習効果を固め、さらに高めるために、第1課～第10課の各課の後には〈情景会話〉を加えています。

本書の内容と学習指導法をよく理解した上で、付属のCDを聞き、練習・復習を行えば、挫折することなくスムーズに中国語の発音をマスターでき、入門・初級レベルの会話能力と文法知識が身につくことでしょう。また本書に掲載された2,100余りの単語と1,100余りの会話文を覚えれば、中国語検定試験準4級と4級の合格圏内に到達するはずです。

本書が皆さんの中国語の発音や入門文法のマスターに大いに役立つこ

とを心より願っております。

最後に、本書の作成にご協力して下さった竹中知子先生に心より感謝の意を表します。

趙玲華

2009年10月2日